

## 令和6年9月議会報告 自主防災組織と消防団の連携強化

【現状と課題】 ・消防団は地域防災の中核として、火災・災害対応、訓練、防火指導など幅広く活動している。 ・自主防災組織は避難所運営や地域避難支援などを担うが、消防団との連携体制は地域により差がある。 ・消防団員の高齢化・担い手不足が進行し、自営業者の減少や活動時間の確保難が背景にある。

・行政対応には限界があり、地域主体での初動対応強化が求められている。

【崎尾の質問・問題提起】 目的 ・災害発生時の地域初動体制を明確化し、消防団と自主防災組織の連携強化を促すことを目的とした。

主な着眼点 ・地区行事（運動会等）での消防団操法披露が地域防災意識向上に寄与している点を評価。 ・消防団と自主防災組織の関係整理のため、意識調査や連携ガイドラインの必要性を提起。

- ・大規模災害時の現場判断や情報共有体制について、実践的運用の検討を要請。
- ・団員確保・待遇改善・広報強化を求め、若年層参画の環境整備を促した。

### 【主な提案内容】

- ・消防団と自主防災組織の定期連携を明文化し、訓練・行事を通じた協働を推進。
- ・避難所開設・炊き出し・土のう作成等の訓練を体系化し、地域防災リーダーを育成。
- ・企業・自治会・地域団体が協働し、若年層・女性の参加を促す地域防災体制の再構築。
- ・他自治体の先行事例を参考に、連携モデルの整理と情報共有体制を構築。

### 【市の答弁（要約）】 現状と対応

- ・消防団は防火指導・訓練・地域行事を通じ、自主防災組織との連携を行っている。
- ・現時点でガイドライン策定は予定していないが、消防団会議等を通じ課題を共有。
- ・避難所運営訓練や防災教育を通じた自主防災組織の機能強化を進めている。
- ・防災・危機管理課が中心となり、避難情報伝達や防災ネットワーク整備を継続。

団員確保と今後の方向 ・団員確保に向け、企業協力・表彰制度・広報活動を継続。  
・消防団・自主防災・行政の三者連携を維持し、地域防災力の向上を図る。

### 【課題と方向】

・防災活動の担い手減少が続く中、地域の自助・共助を支える仕組みづくりが不可欠。 ・消防団と自主防災組織の連携を平時から強化し、災害時に即応できる体制整備を進める必要がある。